

大河原町地震防災マップ

■ 問い合わせ先：宮城県大河原町 地域整備課

〒989-1295 宮城県柴田郡大河原町字新南 19
TEL：0224-53-2445

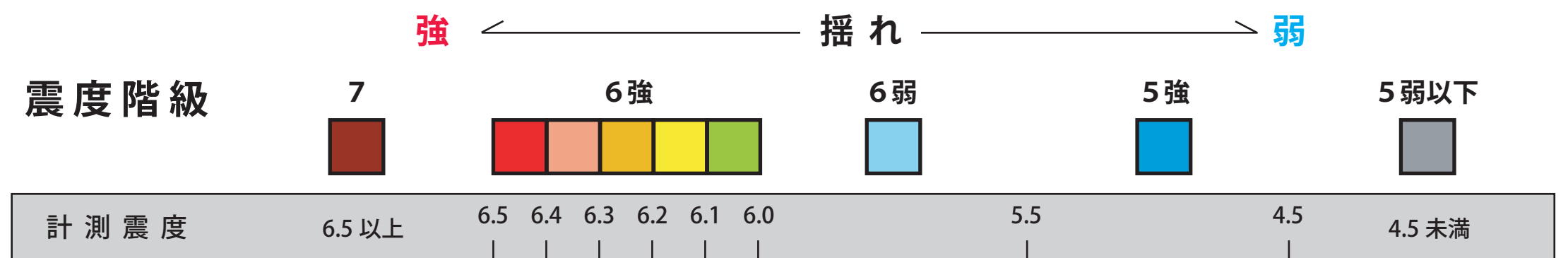
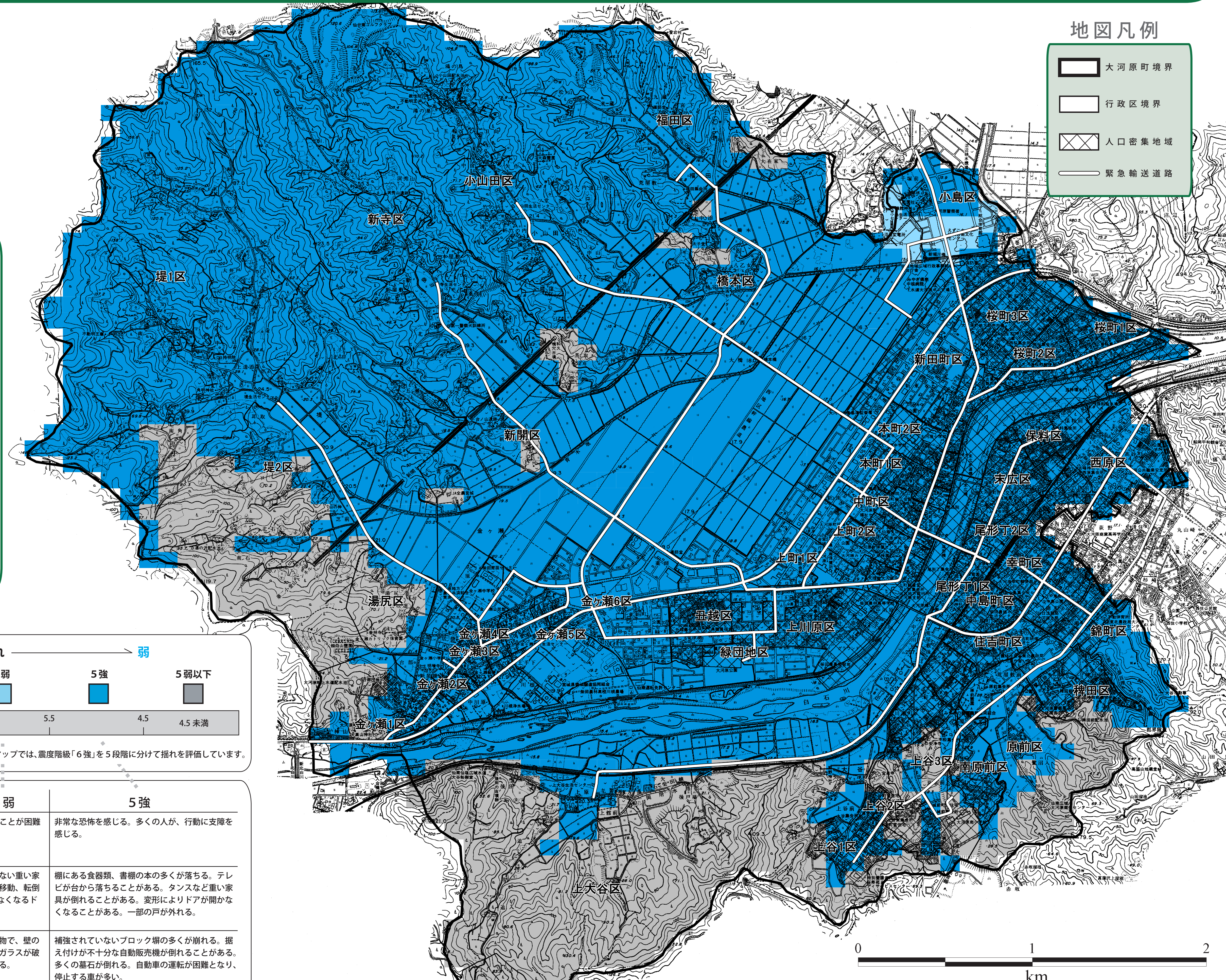
① 揺れやすさマップ (長町-利府断層による地震の場合)

揺れやすさマップとは

- この「揺れやすさマップ」は、内陸の活断層の地震である長町-利府断層による地震を想定した場合の揺れ（震度）を100メートルメッシュ毎に表示したものです。
- 長町-利府断層は、仙台市から利府町にかけて、ほぼ南北に延びる長さ約40kmの活断層です。この断層は、約3000年に一度程度の割合で繰り返し地震を起こしているとされ、最後の活動は約2000年前ではなかったかといわれています。地震の規模（マグニチュード）は、7.1と想定しています。
- なお、このマップに示す震度は、地震の規模や震源の距離から予想される100メートルメッシュ内での平均的な揺れの強さです。地震の発生の仕方によっては、実際の揺れの程度はこれより強くなったり、弱くなったりすることがあります。

地図凡例

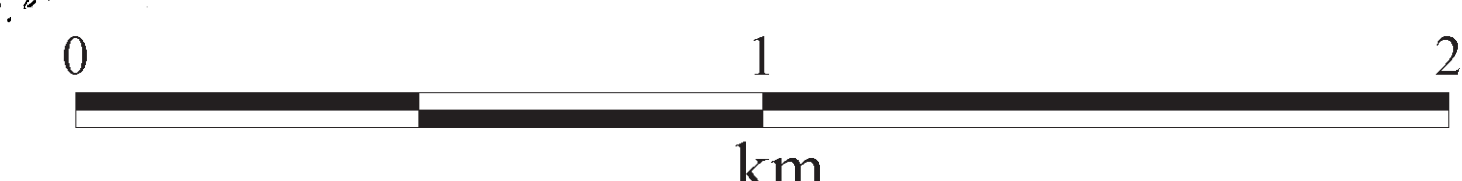
- 大河原町境界
- 行政区境界
- 人口密集地域
- 緊急輸送道路



震度階級は、揺れの強さの程度を数値化した計測震度から換算しています。また、このマップでは、震度階級「6強」を5段階に分けて揺れを評価しています。

	7	6強	6弱	5強
人間	揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できない。	立っていることができず、はわないと動くことができない。	立っていることが困難になる。	非常な恐怖を感じる。多くの人が、行動に支障を感じる。
屋内の状況	ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。	固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸が外れて飛ぶことがある。	固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。	棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。テレビが台から落ちることがある。タンスなど重い家具が倒れることがある。変形によりドアが開かなくなるがある。一部の戸が外れる。
屋外の状況	ほとんどの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されているブロック塀も破損するものがある。	多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。	かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。	補強されていないブロック塀の多くが崩れる。据え付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。多くの墓石が倒れる。自動車の運転が困難となり、停止する車が多い。

※ 気象庁震度階級関連解説表を参考にしています。



※ 背景地図は、大河原町都市計画図 10,000 分の 1 をもとに作成されています。